

令和5年度(10月～令和6年3月)

専門職研修 案内

当病院では、認知症高齢者に関わるケア専門職としての必要な知識、ケア技術の普及・啓発を行うため老人福祉施設、介護保険施設、医療機関等で高齢者のケアに携わる方を対象に、研修会を開催いたしております。

ぜひ貴施設研修の一環として、スタッフの自己学習として本研修会をご活用いただければ幸いに存じます。

同じ事業所の施設で、研修案内が郵送されていない場合には、お手数ですがこの研修案内を回覧していただきますよう、お願いいたします。

一般財団法人 認知症高齢者医療介護教育センター

 **福井県立すこやかシルバー病院**

申し込み時の注意事項

申し込み方法は6P「研修会の申し込み方法」を参照ください。

※受講料は無料です(講義に使用する物品などの代金を頂く事があります)

※申し込みの受付は研修前日の17時まで可能です。

(当日参加希望の場合はお電話でご確認ください)

※申し込み後、数日で「受講承認通知」を通知いたします。

「受講承認通知」の返信がない場合はお問い合わせください。

※申し込みをされず来場された場合、満席の場合は受講できません。

空席状況は、当院ホームページ→[研修・講師派遣の申し込み](#)のバナーをクリック→[専門職研修](#)→ご希望の研修でご確認ください。

※研修のキャンセル、参加者変更などの際には必ずご連絡ください。

※やむを得ず研修日変更や中止などの場合に**お電話**でお知らせをする場合がございます。申し込みの際は必ず電話番号の記入をお願いします。

メールで申し込みをされる方へ

メールでの申し込みの場合は、ドメイン設定によって受信できていない場合があります。あらかじめ設定の変更をお願いします。

FAXで申し込みをされる方へ

FAXでの申し込みの場合はFAX番号の記入間違い、電話回線と同一の場合受信できていない可能性があります。ご注意ください。

会場での注意事項

※会場内は室温調整が個人のご希望に調節できません。掛物等を持参していただき調節してください。特に寒さの苦手な方はご注意ください。

※自家用車で来場される方は、**必ず指定の駐車場**をご利用ください。

(次頁参照)

研修会場案内

福井県立すこやかシルバー病院 福井市島寺町 93-6

☎(0776)98-2700(平日8:30~17:30)

アクセス



車をご利用の場合 JR 福井駅より車で 20 分 JR 鯖江駅より車で 20 分 福鉄神明駅より車で 15 分	バスをご利用の場合 福井駅西口バスターミナル 4 番 京福バス清水プラント 3 方面行き→清水プラント 3 で福井交通清水山方面に乗り換えシルバー病院下車 またはJR越前花堂駅または種池郵便局前より福井交通清水山方面シルバー病院下車
---	--

受講者駐車場ののご案内



○研修者用駐車場(山側)が満車の場合は、病院 **東側駐車場** に駐車してください。

○病院西側(正面玄関右側)の駐車場は外来受診専用です。駐車しないでください。

目次

28	認知症の理解とせん妄 BPSD の予防 (病院での対応をもとに)	1P
29	認知症高齢者に接する時の倫理の基本	1P
30	介護レクリエーションで広がる笑顔の輪	1P
31	言語療法士の視点で診る認知症高齢者の コミュニケーション障害の原因と対応	1P
32	身寄りがない人の入院及び医療に係る 意思決定が困難な人への支援	1P
33	イライラとうまく付き合う介護職になる (アンガーマネジメント)	2P
34	認知症の方の暴言、暴力、介護拒否への対応	2P
35	認知症の方の暴言、暴力、介護拒否への対応	2P
36	認知症高齢者に接する時の倫理の基本	2P
37	実践で活かすパーソン・センタード・ケア	2P
38	認知症高齢者の転倒予防	2P
39	認知症高齢者に対する脳活性化リハビリテーション	3P
40	食べる機能の低下と取り戻す訓練	3P
41	看取り期における食支援 ～本人の希望を尊重した「お食い締め」のあり方～	3P
42	認知症の方の終末期ケア	3P
43	バリデーションの基本	3P
44	「怒り」のある方への対応	4P
45	認知症高齢者が安心できる環境づくり(講義)	4P

46	認知症高齢者が安心できる環境づくり(演習)	4P
47	認知症高齢者の残存機能を生かしたBPSDへの対応	4P
48	対象者の食べる機能と嚥下調整食の対応 ～フードスタディーで食形態を確認し介助のコツをつかもう～	4P
49	対象者の食べる機能と嚥下調整食の対応 ～フードスタディーで食形態を確認し介助のコツをつかもう～	5P
50	「怒り」のある方への対応	5P
51	穏やかで自然な最期を看取るケア —高齢者施設を中心に—	5P
52	在宅で自然な最期を看取るケア —在宅・居宅を中心に—	5P
	研修会へのお申し込み方法	6P
	専門職研修受講申込書(FAX用)	7P

研修会日程

28 認知症の理解とせん妄、BPSD の予防(病院での対応をもとに)

研修日時	令和5年10月4日 (水)	14:00~15:30 (13:30受付開始)	定員	48名
研修内容	・認知症の原因疾患と症状、認知症の方の理解 ・せん妄、BPSDの予防とケア ・症状ごとの事例と対応	講師	公立丹南病院 認知症看護認定看護師 堀佑利恵氏	

29 認知症高齢者に接する時の倫理の基本

研修日時	令和5年10月10日(火)	17:40~19:10 (17:00受付開始)	定員	20名
研修内容	・認知症を介護、看護する現場での様々なジレンマなどの倫理的解釈 ・医療倫理の4原則など医療、看護(介護)倫理の基本について	講師	福井県立大学 看護福祉学部 看護学科 教授 笠井 恭子氏	

※29・36の研修は同じ内容となっております。どちらかご都合の良い日を選択してください

30 介護レクリエーションで広がる笑顔の輪

研修日時	令和5年10月11日(水)	13:30~15:00 (13:00受付開始)	定員	48名
研修内容	・介護レクリエーションについて ・介護レクリエーションの実践、演習	講師	一般社団法人 日本アクティブコミュニ ティ協会 公認講師 小山久子氏	

31 言語療法士の視点で診る認知症高齢者のコミュニケーション障害の原因と対応

研修日時	令和5年10月13日(金)	13:30~16:30 (13:00受付開始)	定員	48名
研修内容	・認知症高齢者の認知・聴覚・発声発語の関係性 ・認知機能の低下とコミュニケーション能力の特徴 ・残された能力を活かせる対応	講師	福井医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 准教授 保屋野健悟氏	

32 身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援

研修日時	令和5年10月16日(月)	14:30~17:00 (14:00受付開始)	定員	48名
研修内容	・ガイドラインを使用し身寄りがいない方の入院、同意などの基本的な考え方 ・事例を基に様々なケースでの対応について	講師	健康科学大学看護学部 助教 山崎さやか氏	

33 イライラとうまく付き合う介護職になる(アンガーマネジメント)

研修日時	令和5年10月18日(水)	14:30~16:30 (14:00受付開始)	定員	48名
研修内容	・介護現場で抱くイライラや怒りの事例や原因 ・イライラや怒りに対するアンガーマネジメント手法を使った適切な対応法	講師	日本アンガーマネジメント協会 ファシリテーター 澤田慎一郎氏	

34 認知症の方の暴言、暴力、介護拒否への対応

研修日時	令和5年10月23日(月)	15:00~17:00 (14:30受付開始)	定員	48名
研修内容	・BPSD(行動・心理症状)の理解 ・BPSD(行動・心理症状)の原因と理由の観察 ・暴言、暴力、介護拒否に対するケア	講師	介護老人保健施設 もえぎ野 看護長 高橋克佳氏	

※34・35の研修は同じ内容となっております。どちらかご都合の良い日を選択してください

35 認知症の方の暴言、暴力、介護拒否への対応

研修日時	令和5年10月24日(火)	9:30~11:30 (9:00受付開始)	定員	48名
研修内容	・BPSD(行動・心理症状)の理解 ・BPSD(行動・心理症状)の原因と理由の観察 ・暴言、暴力、介護拒否に対するケア	講師	介護老人保健施設 もえぎ野 看護長 高橋克佳氏	

※34・35の研修は同じ内容となっております。どちらかご都合の良い日を選択してください

36 認知症高齢者に接する時の倫理の基本

研修日時	令和5年10月24日(火)	17:40~19:10 (17:00受付開始)	定員	20名
研修内容	・認知症を介護、看護する現場での様々なジレンマなどの倫理的解釈 ・医療倫理の4原則など医療、看護(介護)倫理の基本について	講師	福井県立大学 看護福祉学部 看護学科 教授 笠井 恭子氏	

※29・36の研修は同じ内容となっております。どちらかご都合の良い日を選択してください

37 実践で活かすパーソン・センタード・ケア

研修日時	令和5年10月25日 (水)	13:30~16:30 (13:00受付開始)	定員	48名
研修内容	・パーソン・センタード・ケアの考え方 ・パーソン・センタード・ケアの事例 ・本人の視点からの行動の理由を考えてケアを充実させるポイントを学ぼう	講師	浜松医科大学 医学部看護学科 教授 鈴木みずえ氏	

38 認知症高齢者の転倒予防

研修日時	令和5年11月10日(金)	13:30~16:30 (13:00受付開始)	定員	48名
研修内容	・認知症の症状と転倒に関連する症状 ・認知症高齢者の転倒の特徴 ・認知症高齢者の転倒予防のための工夫	講師	京都橘大学 看護学部看護学科 教授 征矢野あや子氏	

39 認知症高齢者に対する脳活性化リハビリテーション

研修日時	令和5年11月13日(月)	13:30~16:30 (13:00受付開始)	定員	48名
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者に対するリハの意義・目的 ・脳活性化リハの5原則 ・脳活性化リハの実践 		講師	群馬大学 大学院保健学研究科 教授 山上徹也氏

40 食べる機能の低下と取り戻す訓練

研修日時	令和5年11月16日(木)	14:30~17:00 (14:00受付開始)	定員	48名
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食べる機能の低下とは ・食事形態変更のタイミング ・口・のどの機能を取り戻す訓練 ・摂食嚥下ケアにおける多職種連携のポイント 		講師	愛知学院大学 健康科学部健康科学科 准教授 牧野日和氏

この研修は、「41.看取り期における食支援」とで1つのテーマとなっております。
40と41を受講されるとより深い学びになります。

41 看取り期における食支援～本人の希望を尊重した「お食い締め」のあり方～

研修日時	令和5年11月17日(金)	9:30~12:00 (9:00受付開始)	定員	48名
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「最期まで食べる」ことの意味ありがちな誤解 ・看取る側のけじめ・折り合いとしての支援 ・看取り期と回復期における食支援の違い ・「お食い締め」の事例紹介 		講師	愛知学院大学 健康科学部健康科学科 准教授 牧野日和氏

この研修は、「40.食べる機能の低下と取り戻す訓練」とで1つのテーマとなっております。
40と41を受講されるとより深い学びになります。

42 認知症の方の終末期ケア

研修日時	令和5年11月22日(水)	13:30~16:30 (13:00受付開始)	定員	48名
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人工的な水分・栄養補給の考え方、本人・家族の意思決定について ・認知症の方が、その人らしく生きるための希望、意思の尊重。 ・混乱を軽減するための環境調整 		講師	群馬大学大学院保健学研究科 医学部保健学科 教授 伊東美緒氏

43 バリテーションの基本

研修日時	令和5年11月30日(木)	10:00~16:00 (9:30受付開始)	定員	48名
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バリテーション技法を用いた認知症の人とのコミュニケーション ・認知症の人に寄り添い、本来の気持ちを引き出すコミュニケーション ・バリテーションを受けた認知症の効果について 		講師	株式会社ささや木 代表取締役 亀田 司氏

この研修は、途中で食事のため1時間ほど休憩を設けております。会場での食事は出来ませんがゴミは各自でお持ち帰りください。また、当院は食堂がございませんので食事などはあらかじめご準備ください。

44 「怒り」のある方への対応

研修日時	令和5年12月4日(月)	14:30~16:30 (14:00受付開始)	定員	48名
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「怒り」とは何か ・攻撃的感情が行動心理に及ぼす影響と薬剤の関係 ・「怒り」の効果的対応と工夫 	講師	福井県立病院こころの医療センター 精神看護専門看護師 山口達也氏	

45 認知症高齢者が安心できる環境づくり(講義)

研修日時	令和5年12月22日(金)	13:30~16:30 (13:00受付開始)	定員	48名
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者の環境支援の具体的な内容について ・認知症高齢者への環境支援に関する事例 	講師	日本社会事業大学 社会福祉学部福祉援助学科 教授 下垣光氏	

46 認知症高齢者が安心できる環境づくり(演習)

研修日時	令和5年12月23日(土)	9:30~12:30 (9:00受付開始)	定員	48名
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事前課題を提出いただき課題を用いて演習します ・課題は施設・在宅を選択して提出して頂きます 	講師	日本社会事業大学 社会福祉学部福祉援助学科 教授 下垣光氏	

この研修は事前に課題を提出して頂き、それを基に演習を行います。参加される方は「施設」「在宅」のどちらかを選択して申し込んでください。(申し込み中に記入がない場合は確認のご連絡をいたします。)

47 認知症高齢者の残存機能を生かした BPSD への対応

研修日時	令和6年3月4日(月)	13:30~16:30 (13:00受付開始)	定員	48名
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症疾患別に出現する障害、BPSD ・脳の残存機能を活かした BPSD への介入 ・心理的側面への介入について 	講師	京都府立医科大学 医学部看護学科 講師 占部美恵氏	

48 対象者の食べる機能と嚥下調整食の対応

～フードスタディーで食形態を確認し介助のコツをつかもう～

研修日時	令和6年3月14日(木) 申し込み締切 3/1(金)	14:00~17:00 (13:30受付開始)	定員	48名
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食べる機能に合った食形態「嚥下調整食」とは ・食べる機能を正しく理解する視点について ・実際の嚥下調整食を体感してみましょう 	講師	愛知学院大学 健康科学部健康科学科 准教授 牧野日和氏	

この研修は、「49 対象者の食べる機能と嚥下調整食の対応」の内容と同じです。
この研修では嚥下調整食などを用いた体験研修を行います。使用する嚥下調整食の代金として1人500円がかかります。ご了承下さい。代金は当日、受付でお支払い下さい。また、お釣りが無い様ご協力ください。
嚥下調整食注文の関係上、研修申し込みを 3月1日までにお願いします。それ以降のキャンセルの場合は後日、当院にて嚥下調整食と配布資料お渡しいたしますので嚥下調整食代500円をご持参ください。
多くの参加者が見込まれますので**確実に参加出来る方のみ**申し込みをお願いします。

49 対象者の食べる機能と嚥下調整食の対応

～フードスタディーで食形態を確認し介助のコツをつかもう～

研修日時	令和6年3月15日(金) 申し込み締切 3/1(金)	9:30～12:30 (9:00受付開始)	定員	48名
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食べる機能に合った食形態「嚥下調整食」とは ・食べる機能を正しく理解する視点について ・実際の嚥下調整食を体感してみましょう 	講師	愛知学院大学 健康科学部健康科学科 准教授 牧野日和氏	

この研修は、「48 対象者の食べる機能と嚥下調整食の対応」の内容と同じです。

この研修では嚥下調整食などを用いた体験研修を行います。使用する嚥下調整食の代金として1人**500円**がかかります。ご了承下さい。代金は当日、受付でお支払い下さい。また、お釣りがない様ご協力ください。

嚥下調整食注文の関係上、研修申し込みを**3月1日**までにお願いします。それ以降のキャンセルの場合は後日、当院にて嚥下調整食と配布資料お渡しいたしますので嚥下調整食代500円をご持参ください。

多くの参加者が見込まれますので**確実に参加出来る方のみ**申し込みをお願いいたします。

50 「怒り」のある方への対応

研修日時	令和6年3月18日(月)	14:30～16:30 (14:00受付開始)	定員	48名
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・怒りとは何か、怒りのある方との接し方について ・逆効果となる対応 ・薬と感情の関係について 	講師	福井県立病院こころの医療センター 精神看護専門看護師 山口達也氏	

51 穏やかで自然な最期を看取るケア—高齢者施設を中心に—

研修日時	令和6年3月28日(木)	9:30～12:00 (9:00受付開始)	定員	48名
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りに関する共通理解 ・「生活の場」だからこそ穏やかな看取りが実現できる ・看取りのための重要ポイント 実践事例から学ぶ 	講師	東京有明医療大学看護学部看護学科 大学院看護学研究科 教授 川上嘉明氏	

※51 と 52 の両方の研修を受講される方:研修会場で昼食を摂る事は出来ませんが、ゴミは各自でお持ち帰りください。52の研修受付時間(13:30)までにはお食事を終えて下さい。

52 在宅で自然な最期を看取るケア—在宅・居宅を中心に—

研修日時	令和6年3月28日(木)	14:00～16:30 (13:30受付開始)	定員	48名
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りに関する共通理解 ・在宅で「最高の看取り」を実現する ・看取りのための重要ポイント 実践事例から学ぶ 	講師	東京有明医療大学看護学部看護学科 大学院看護学研究科 教授 川上嘉明氏	

※51 と 52 の両方の研修を受講される方:研修会場で昼食を摂る事は出来ませんが、ゴミは各自でお持ち帰りください。52の研修受付時間(13:30)までにはお食事を終えて下さい。

研修会の申し込み方法

1. 申し込み方法（メール・FAXいずれかの方法で申し込みください）

① メールでの申し込み

E-mail:

（当院ホームページ→研修・講師派遣の申し込み→メールでの申し込みはこちらをクリック）

- ・ 上記アドレスに以下の内容を入力し送信ください

- ① 研修テーマ
- ② 研修開催日
- ③ 受講者の所属施設名
- ④ 住所（ご自身または所属施設）
- ⑤ 電話番号（ご自身または所属施設）
- ⑥ 受講者の氏名 職種 経歴年数

- ・ 申し込み確認後、「受講承認通知」を返信いたします。
着信拒否設定をされていると返信が届きませんので、ドメイン設定の変更をお願いします。
- ・ 「受講承認通知」の受診で、お申し込み完了となります。
- ・ 申し込み後、数日経過後も返信メールが届かない場合はお問い合わせください。

② FAXでの申し込み FAX：(0776) 97-5037

7ページ、「受講申込書」に、必要事項を記入しFAXしてください。

- ・ 研修会 、研修 、受講者の 、郵便番号、（受講者または所属施設）、（受講者または所属施設）、（受講者または所属施設）、
申し込み担当者名、をご記入ください。

- ・ 案内の申込書以外でも、必要事項が記載されていれば申込書の様式は問いません。
- ・ 申し込み確認後、FAXで「受講承認通知」を返信いたします。
- ・ 「受講承認通知」の受信で、申し込み完了となります。
- ・ 定員オーバーなどにより、受講のご希望に添えない場合も、FAXにてお知らせをいたします。
- ・ 申込み後、数日経過後も返信FAXが来ない場合はお問い合わせください。

2. 研修日程の変更や申し込みキャンセルなど

- ・ 申し込み後、受講承認通知の内容をご確認ください。通知が来ない場合、内容に不備のある場合はお問い合わせください。
- ・ 講師の都合などで研修会の日程が変更になる場合がございます。申し込み方法に関わらず **電話番号** をご記入ください。
- ・ 参加者のご都合で不参加・受講者の変更の場合は、**必ず事前にご連絡ください。**

※お問い合わせ：福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 担当：辻

TEL：(0776) 98-2700（平日8：30～17：30） FAX：(0776) 97-5037

専門職研修受講申込書(FAX 用)

(希望人数が多数の場合は必要枚数コピーして使用してください)

FAX 番号(0776)97-5037 福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部

※研修会テーマ名 (研修番号でも可)		
※研修開催日		令和 年 月 日
受講者の 情報を 記入	※所属施設名(所属部署 名等も記入ください)	
	※郵便番号	〒 -
	※住所	
	※電話番号	
	※FAX 番号 (24時間送信可能な 番号を記入ください)	() -
申し込み担当の方がいる場合は担当者氏名を記入ください。		
1	※受講者氏名	
	※職種	
	※実務経験年数	
2	※受講者氏名	
	※職種	
	※実務経験年数	
3	※受講者氏名	
	※職種	
	※実務経験年数	

※の項目は必ず記入してください。

ホームページで空席状況をご確認の上、申し込みを行ってください。

数日経過後も「受講承認通知」の返信がない場合はお問い合わせください。TEL(0776)98-2700